

6/24 和ろうそく絵付け体験 <2-1>

6月24日に「国際交流のための日本の文化に関する学習会」を開催し、和ろうそく体験をしました。本来であれば、夏休みの「オーストラリア海外研修」において、姉妹校の生徒たちやホストファミリーに日本文化を紹介し、お土産として持って行きます。地元西宮において、和ろうそくを製作しておられる「松本商店」代表取締役 松本恭和さんを講師としてお招きして、2年7組の生徒たちが和ろうそくの絵付け体験をしました。日本の文化でありながら、普段なかなかできない体験に、生徒たちは熱心に取り組んでいました。

和ろうそくって、どうやって作るんだろう??



和ろうそくの「ろう」は、身近な日用品にもたくさん使われているんですよ。

ろうって、こんな手触り
なんやねー。



いよいよ絵付け体験を開始！！ さあ、どんな絵柄にしようかなあ。



うーん。
難しい(^_^;) ;



めっちゃ
上手やん！



みんな、真剣そのもの！ 集中して絵付けを
しています！ なかなか上手ですよ！！



貴重な体験を
ありがとうございました！



<生徒の感想より>

★和ろうそくがこんなにも身近な場所で作られていることに驚いた。すごく手間をかけて作られていることに、本当に尊敬します。

★花びらの繊細で細やかな質感やしなやかさを表現しているところに、職人のすごさを感じました。

★外国へ持って行くと、海外の方と話が広がるきっかけになると思うし、色々な国の文化についてもっと知りたい、と思いました。留学できたら、和ろうそくのことにも広めたいと思った。

★日本の文化は知っていても、経験する機会はなかなかないから、実際に体験できてよかった。和ろうそくの材料を実際に触らせてもらえたり、円柱状のろうそくに絵を描く難しさも体験できた。

★日本の文化をよく知り、その魅力に気づくと言うことは、海外の文化を学ぶ以前に大切なことだと感じました。海外で日本の文化について話せる日が来たら、ぜひ「和ろうそく」について話したいと思いました。